

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2012年7月号



県連統一クリーンハイク



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2012年 7月1日発行 通巻231号(毎月1回発行)

夏山シーズン！山での事故は

絶対に起こさない！！

7月号目次

7月号目次		2
個人会員制度の実施にむけて	広木 国昭	3
県連盟行事案内（救助隊・沢んちゅの集い）		4
花博士の花便り	中原 紀代治	5
クリーンハイク報告	菅井 井 修	6
ハイキング委員会報告	桑原 年一	7
ハイキング委員会リレーエッセイ	川上 よう子	8
ハイキング委員会リレーエッセイ	中原 紀代治	9
NPO活動報告	角掛 詢子	10
NPOバスハイクのお知らせ		11
県連たより		12
7月・8月予定		13

表紙説明

今年度の県連統一クリーンハイクが、6月3日・七里川溪谷で実施された。(本誌6P)
8会より34名の参加であった。県連で統一して実施する場合は、企画・運営を自然保護
委員会が行う。場所・実施日の設定にも苦勞していると思う。

参加者からは、雨の多い時期、ヒルの巣である所を選択しなくても良いのではないか。
などの声もあった

また、この時期は毎年独自で実施している会がある事も報告されている。

次年度にむけて、準備期間を十分とって、検討をお願いしたい。

出来れば、せっかくの機会なので、報告会・交流会も計画してほしい。

自然保護委員会皆さん、ご苦勞様でした。

◆ 個人会員制度導入の経緯

全国連盟、2010年2月の全国総会で「個人会員制度」導入を提案した。その後、2010年5月、全国組織担当者会議を開催し議論を深めた。

この会議をうけて、全国連盟理事会に、個人会員制度導入のプロジェクトチームを設置し、制度の具体案について検討を行った。さらに、2011年2月の全国評議会で出された意見・要望を反映させた個人会員制度導入第2次案を、2012年2月・第30回全国総会に提案し、個人会員制度の導入を決議した。

今後、2013年2月・臨時総会で本格実施の決議にむけて、より具体的で実践的な制度とするために全国連盟理事会に「個人会員制度促進本部」を設置した。

そして、本制度の中心となる、個人会員ホームページ・(Rousanパートナーズ)、山行管理システム・(安全登山サポートシステム)を開発し、より具体的システムの検証・実証活動を行い、2013年の臨時総会で正式に導入を決議する。

◆ 実証活動とは・・・何をどうするのか？

2013年2月の臨時総会で個人会員制度の本格導入を決定後、即実施するために制度運営の中心となる、個人会員ホームページ・(Rousanパートナーズ)、山行管理システム・(安全登山サポートシステム)の実証を行う。

地方連盟の中で、個人会員制度の導入を決定している連盟、今後早い時期での実施を検討している連盟に協力をお願いして、8月1日より実証活動を開始する。現在、6地方連盟が実証活動に参加表明をしています。

実証区登録地方連盟

- ・ 沖縄県連盟 ・ 高知県連盟 ・ 福岡県連盟 ・ 東京都連盟 ・ 千葉県連盟
- ・ 宮城県連盟

その後、6月16日に開催された個人会員制度実証区会議にオブザーバー参加した、地方連盟も実証活動への参加を前向きに検討し参加表明をすると思われる地方連盟も報告されている。

◆ 千葉県連の実証活動について

- 1、 8月1日より、個人会員の募集準備を開始し、組織体制をつくる。
- 2、 個人会員に対する、教育・講習などのカリキュラムの作成。
- 3、 山行管理システムの試運転に参加する。
 - ・ 会の山行管理に取り入れを検討する。
 - ・ 会員個人の山行管理として実施協力をする。
- 4、 千葉県連での実施に向けて、制度への要望、改正を検証する。

◆ 千葉県連の個人会員制度は、「拡大検討部会」を中心に実施します。

まず、「拡大検討部会」に参加して、会の意見・要望、をお願いします。

◆ 個人会員制度に関する質問などは、

千葉県連ホームページ、事務局への問合せをお願いします。

懸垂下降のスタンダード講習会

主催 千葉県連救助隊

懸垂下降時の事故が多発しています。県連内での事故も報告されています。千葉県連救助隊では、「懸垂下降のスタンダード」の普及に取り組んでいます。懸垂下降のスタンダードとは、従来の方法に一味加えたより安全・確実な方法です。簡単に学べますが、継続した訓練で確実にマスターする事がポイントです。

各会のリーダー・山行責任者クラスの参加をお願いします。

参加者は、ハーネス・カラビナ・スリングを持参下さい。

- ◆ 実施日 9月2日(日) 14時～15時
- ◆ 場 所 ヨシキスポーツ・クライミングウォール
- ◆ 申込み先 高橋救助隊長
- ◆ 締切り 7月県連理事会(7月19日)
- ◆ 雨天は中止とします。(問合せは高橋救助隊長まで
ヨシキスポーツには絶対に問合せしない事



第2回沢んちゅの集い

沢登り経験技術交流集会

7月中旬の梅雨明けを期待し、丹波川本流での泳ぎのトレーニングを計画しました。二日目は、大菩薩嶺につきあげる大黒茂沢を楽しく遡行します。大黒茂沢は、滝やナメがほどよい良溪です。1日のみの参加も歓迎します。

- ◇ 実施日 7月21日(土)・22日(日)
- ◇ 場 所 奥秩父・丹波川流域
- ◇ 日 程
21日 9:00～14:00
丹波川本流(三条新橋～おいらん淵～青梅街道)
泳ぎのトレーニング
22日 6:00～14:00 交流遡行
泉水谷・大黒茂沢(泉水林道～大黒茂沢～大菩薩嶺
～丸山峠～泉水林道)
- ◇ 集 合 21日(土) 8:30 三条新橋先広場
- ◇ 交流会 21日 17:00 三条新橋横河原(焚火を囲んで)
- ◇ 参加費 無料(食事・交流会用飲食は各会にてお願いします)
- ◇ 申し込み・問合せ先 吉田理事長 (tetsu195715@aol.com)
- ※ 申込書は、別途各会へ配信します)



花博士の花便り。

中原 紀代治

ふわくハイキングサークル

特定外来生物について。

セイタカアワダチソウを知っていますね。この花は、代萩と呼ばれて北アメリカから持ち込まれ最初は、ハギの代わりに観賞するために栽培されましたが、繁殖が強く花壇から逃げ出して厄介者の植物になりました。このように日本に無かった物が人間によって運び込まれた生物を外来生物といい。その中で特に強い物を特定外来生物として環境省が定めて、罰則が有ります。千葉で目立つ花が、**オオキンケイギク**です。毎年増えています、雑草を押しよけ育ち強い繁殖力があり、ほっておくと日本中この花で占領されて日本の四季に咲く野草の花が観られなくなりそうです。黄色いコスモスに似た花で直系5センチほどの綺麗な花ですから、切り取るのが惜しくなり庭に植えたくりますが、栽培が禁止され罰則が有ります。

これと似た2センチくらいの大きさの花に**ナルトサワギク**があります。千葉県では、館山市で群落が確認されました。私の散歩道の茂原工業団地で、見たことの無い黄色の花があり、綺麗と思っていたのですが、これがナルトサワギクでした。千葉で2番目の発見とのことで県の担当者で茂原市環境保護の係りの人で、駆除することになりました。アルカロイドの毒性を含み、食べると牛が死ぬといわれます。その後木更津でも、見つかりました。千葉県の特定外来物はこのほかに、植物では、ナガエツルノゲイトウ・アレチウリ・オオフサモ・オオハンゴンソウ・ボタンウキクサ・が有ります。

動物では、アカゲザル・アライグマ・キョン・カメツキガメ・ウシガエル・オオクチバス・ブルーギル・セイヨウオオハナバチ・が指定されています。

環境を守るために外来種は、責任を持って育てましょう。



オオキンケイギク



ナルトサワギク

県連統一クリーンハイク報告

自然保護委員長 ちば山の会 菅井 修

実施日 2012年6月 3日(日)

場所 七里川溪谷

前日までの天気予報では雨であったが小雨決行ということでということで予定どおり決行した。幸いなことに、当日朝は曇りクリーンハイクには絶好の日和となった。吊り橋の近くの林道の崖の補修工事で一般車通行止めだったためクリーンハイクの場所近の道路の広いところに車を駐車させることが出来た。予定参加者 35 名が予定どおり 9:40 より作業開始。工事用の道から河原に降り、下から崖を少し登り返し、道路と川の間の本立の斜面の様々な散乱しているゴミを拾う。タイヤなど大きなゴミはロープを使い直接上の道路へ引き上げた。君津市からもらってきた 60 枚のゴミ袋はたちまちいっぱいになった。いっぱいになった袋もロープを使い引き上げた。35 人が協力し一斉に作業をするとすごいものだ。開始前とても 1 日では終わらないと思われた大量のゴミも 1 時間半ほどできれいに拾い上げられた。少し時間に余裕があったので橋の近くに移動。ロープで確保してもらい斜面上のゴミを回収した。

道路道路上の広い場所に山のように積みあげたゴミの周りに集まり写真を撮り 12:00 頃作業を終え、道路上に座り弁当を食べ、互いの親睦をはかった。

13:00 頃、作業が終わるのを待つかのように雨が降り出したので現地解散となった。

次の日君津市役所に道路上の 2 カ所のゴミを回収してもらい、計量すると全部で 480kg であった。参加の皆さんご苦労様でした。

統一クリーンハイク参加者数	8 会	34 人		
ふわくハイキングサークル	13		東葛山の会	3
ちば山の会	10		君津ケルン	3
こまくさ	2		船橋山の会	1
茂原道標	1		ACT峰友	1



河原の清掃

河原にはゴミが少ない。
道路脇には、不法投棄の大来なゴミが多い。しかし、そこには「蛭」が待っていた。被害が少々あった。



昼食風景

道路を専用して（工事中で通行止）
持参の弁当を食べる。
この時が一番楽しそうであった。

第三回ハイキング委員会

出席者 桑原、佐川、八巻、大田、小山、中原、吉沢、高見、佐藤、 9名
議題

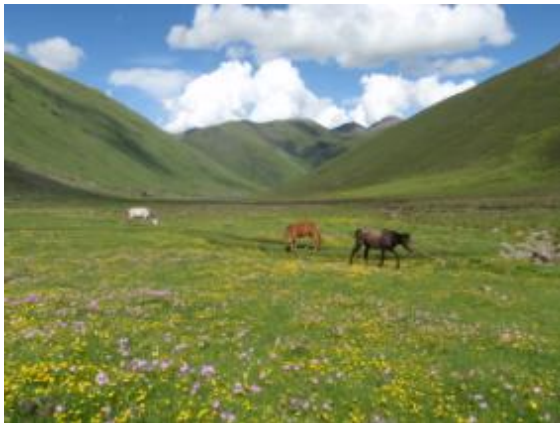
- 1、 15回平日山行 玉原高原（湿原～尼ヶ禿山～迦葉山寺）
反省 ①トイレ問題を考える。②迦葉山に変更して良かったが、バス会社には計画書に変更有を事前に届ける事。
次回の山行 来年も5月として、良い山行地を次回までに探す事。
決算 余剰金¥22,850-出たので県連会計に献納の承認を得る。
- 2、第28回 房総ロングハイキング
2013年1月26日（土）27日（日）に決定。七里川温泉予約済。
コース検討 石尊山～麻綿原より先を（安房小湊駅までの新コースに変更）次回までに決定する。下見も検討。
東葛地区バス組 前日の山行を次回までに決定。
- 3、ちばニュース掲載引き続き行う事にする。 タイトル（山への想い）雑感
原稿掲載の順番
7月小川、8月山本、9月佐藤、10月加藤、11月桑原、12月小山、1月八巻、2月大田、3月小川、4月天野、5月吉澤、6月高見、7月佐川、8月中原、9月山本、10月佐藤、（順序変更）
前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。 ※未投稿の方、遅れても必ず投稿お願いします。
- 4、全国ハイキングリーダー講習が「全国ハイキング学校」に変わりました。
9/22（土）13：00～23日（日）16：00 奥多摩「観光荘」
初心者対象 募集人員 20名 募集 参加の随時
- 5 その他
- 1) ボランティア支援隊 NPO 6/16,17 報告 34名、静岡 46、東京 30、110名 大盛況。次回7/14～16 予定：各月第3土日予定
NPO バスハイク 10/21（日）安達太良山 大型バス2台 参加募集
- 2) ふれあいハイキング
実施日 2012年5月20日（日）弘法山 バス3台 22名 内車いす7台 会員104名 無事に終了しました。（次回2014年5月予定）
- 3) 女性委員会 ワンコイン講習 11/17（土）か18（日）のどちらか決定
次回委員会 2012年 10月 16日（火） 19：：00 県連事務所

天空の花園・驚きと感動の日々

(2011年6月28日～7月6日)

かがりび山の会 川上 よう子

成田15時30分発、成都直通便で5時間弱で中国の土を踏み、飛行場から1時間程のホテルに宿泊。朝早く起き、乗合バスで成都から丹巴まで10時間、雄大な大河の縁を落石を避け、クラクションを鳴らして奥へとひた走る。車内は賑やかで、日本では考えられないパワーだ。翌日は丹東集落へ4Wの車3台で6時間走る。サクラソウが咲いている。オレンジ色のサクラソウは初めてだ。ピンクの色も目立ってきた。高度順応のため集落を散策、屋根の飾り物など、



私には珍しい真新しい風景ばかりである。

いよいよ私は2回目の乗馬、落ちないように鞍に捕まる。私の馬子は(女性)でとても元気一杯で、岩山をグイグイと高度を上げて行く。念願のブルーポピー、イエローポピー、レッドポピーも沢山あり感動する。観光化されていない世界の理想郷モスカ集落に入れた。子供達の歓迎の民族舞踊、寺院、素朴な佇まいなどは心の故郷に引き込まれた一時であった。

4500メートルのフラワー・ウォッチングは、神々しい威圧感を感じさせ、黄色のポピーの花々は峠の霧の中で見た忘れられない光景である。オレンジ色のサクラソウ、リュウキンカの丘、ここは天空の花園「秘密の楽園」だ。



四川省花旅 四姑娘山よ、永遠に……

ロングハイキングをふり返る。

中原 紀代治

ふわくハイキングサークル

私が、ロングハイキングに参加したのは、前ハイキング委員長の岡本典夫さんが健在の時でした。その時のコースは、内浦山県民の森で、宿泊し、早朝、鴨川の下神社に移動してスタートでした。高鶴山に登り、峰岡林道、愛宕山を横にみて、伊予ヶ岳に登り、裏から富山に登り下山し富山中学校ゴールでした。岡本さん夫婦がゴールでスイセンの花束をゴール者に渡していたのが、思い出されます。私が歩いたのが2回、車のポーター2回やりました。内浦山県民の森で、参加者の行方不明事故も有りました。一盤参加の人が夕方散策に出かけて帰ってこないで、捜索になりました。雨天の中23時まで、捜索し次の日の10時過ぎに見つかった事故でした。

2003年度第21回ロングハイキングの時、岡本さんの体調が悪いとの事で、委員長が桑原さんに代わり、ふわくの代役として、私が実行委員長に選ばれました。

新コースの七里川温泉から石尊山・麻面原・一杯水林道・清澄寺・郷台林道・元清澄入口・三逢・地蔵峠・三石寺のコースが決まり既に見下見も終わっていました。それから私はひとりで、コースの下見をしました。新ハイキングの遭難事件があった直後でしたので気を使いました。

七里川温泉から麻面原まで、鍬を担いで歩きました。三石寺の方からもコースを下見しました。三逢では、崩落の箇所があり、委員会で下見したコースより安全なコースも発見出来ました。本番では、85名の参加者があり、一杯水林道の入口で道迷い者があり、心配しましたがサポート隊のお陰で無事に終わりました。

次の年は、参加者が115名を超え驚きでした。また残雪が10センチ有り心配しましたが全員が完歩しました。その後は、東大演習林との交流により、これまで許可のでなかったコース設定が出来る様に成りました。昨年は、紅葉ロングハイイクのコースが七里川の吊り橋の通行禁止でとまどいましたが、何とか良いコースを発見し歩けました。これらが成功したのは、桑原ハイキング委員長の頑張りのお陰と信じています。桑原さんの行動力には驚かされます。現在は80歳で、いつも先頭を歩き、ウィークディ山行の時は、即下見に出掛けてコースを見てきます。高速道路を運転しない、私には出来ないことです。私は71歳を過ぎて、段々と厳しくなりました。これからのロングハイキングは、長い距離ではなく、ゆっくり長く歩くロングコースにしたいですが、私のわがままでしょうか。桑原さんが頑張っているので、負けられないようにお互いにトレーニングしてロングイクを楽しみましょう。

房総ロングハイキングと房総郡界尾根縦走について

この二つの取り組みは、千葉県連盟が他県連盟に誇れる取り組みである。同時にこの取り組みは、千葉県連盟の活動の歴史でもある。

千葉県連盟は、追原ダム建設阻止・房総有料道路問題・鬼泪山を守る運動など房総の自然を守る活動に全力で取り組んで来た。これらの取り組みは、故郷房総の素晴らしい自然を知りつくした、ふわくハイキングサークルの皆さんの協力があった取り組みです。

そして、この取り組みには大きなエネルギーが必要です。10回以上継続して来たと言うことは、協力して来た皆さんも10歳年齢が増えた事でもあります。

新しい協力者、引き継いで行く方の参加をお待ちしています。

安達太良山バスハイクのご案内

NPO法人「ちば労山ゆう」

千葉県勤労者山岳連盟は、震災直後の昨年4月より気仙沼・石巻を中心に支援活動を行って来ました。この活動を続けて行くために NPO法人「ちば労山ゆう」を立ち上げ4月より石巻市で支援活動を続けています。NPO法人立ち上げを記念し、支援活動への参加に感謝し、東北の名山「安達太良山」にバスハイクを計画しました。被災地の復興支援・会員の交流のために参加をお願いします。



紅葉の安達太良山

実施概要

- ・ 主催 NPO法人「ちば労山ゆう」
 - ・ 実施日 2012年10月21日(日)
 - ・ 場所 安達太良山
 - ・ 参加費 6,000円(ゴンドラ料金含む)
 - ・ 募集人員 104人(大型バス 2台)
 - ・ 集合場所 新鎌ヶ谷駅前・JR千葉NTT前
 - ・ 当日の運営などの協力をお願いします。
- ☆ その他、詳細については、検討中です。



問合せ先: 千葉県連盟ホームページ・「ちば労山ゆう」への問合せまで

NPO 法人ちば労山ゆう 6月の支援活動報告

千葉こまくさハイキングクラブ 角掛 詢子

NPO 発足後3回目の支援活動は、6月15日(夜)から17日(日)までで、バス1台と乗用車4台に分乗して、総勢34名が石巻へ向いました。

1日目は小網倉という浜辺での瓦礫撤去でした。すでに大きな物は撤去されていましたが、窓のサッシの一部や鉄骨・家電品・船の破片・バッグ・ガラスや食器などが散らばっていて、作業が終わる頃には大きな山がいくつも出来ました。

昼休み時間には、この浜で復興の主角としてがんばっている漁師の阿部さんの話を聞いたり、漁船に乗せて頂いて沖に設置してあるイワシの生け簀見学にも行く事が出来ました。

大震災当時は、数日後に自衛隊のヘリで救助されるまで、流されずに残った高台の家に80人程の方々が避難していたそうです。また地盤沈下(約1,5m)した為、満潮時は浜全体が海になってしまうので後方の高台への移転を計画しているとの事です。

最近に行く度に海の上に浮かぶ漁船や養殖用の筏が増えていたり、仕事をする姿が見えてきて活気が出て来た様に思えました。

宿泊場所の水沼センターでは、今回は静岡県連や東京都連の方々も一緒になり、100名を越える大交流会となりました。

2日目は、水沼センターを清掃した後、初参加の方々には女川や大川小学校へ向かい、残った人は水沼集落内を流れる川の清掃作業を行いました。

昼前に全員合流し、たいした雨にも降られず2日間の支援活動を無事に終えることが出来ました。参加の皆様お疲れさまでした。

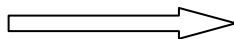


イワシの生け簀

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX: 043-306-1190
Eメール: rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
newstoukou@cwaf.jp
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax: 043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号: ゆうちょ銀行
00130-7-595190
加入者名 佐藤 勝子
〒272-0023
市川市南八幡 1-25-16
- ☆ 事務局のお手伝いを募集中
事務所の片付け・資料の整理など
空いた時間でお手伝い下さい。
一人でもお友達と一緒に大歓迎です。
連絡先は: 広木まで



NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 県連ホームページに
「ちば労ゆう」のページを作成。
ホームページからも入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
- ・NPO 支援活動日
7月14・15・16日
8月18・19日
石巻で支援活動を行います
- ・入会情報
正会員数 名
賛助会員数 名
合計 名
県連会員数の、約20%です。
今年度中に、50%の加入を・・・
- ・入会をお待ちしています。
労山会員以外の方を歓迎
します。友人、知人を紹
介して下さい。

☆☆☆ お願い ☆☆☆
県連活動は、各会の参加協力が
基本です。会として、一会員とし
て出来る事を、出来るだけで結構
です。ちょっと空いた時間で、
県連にご協力をお願いします。

Eメールアドレス
danphirp@zpoat.plala.or.jp

県連活動予定表

7月		8月	
1	日	1	水
2	月	2	木
3	火 役員会	3	金
4	水	4	土
5	木	5	日
6	金	6	月
7	土	7	火 役員会
8	日	8	水
9	月	9	木
10	火	10	金
11	水	11	土
12	木	12	日
13	金	13	月
14	土 NPO支援活動	14	火
15	日 //	15	水
16	月 //	16	木 理事会はお休み
17	火	17	金
18	水	18	土 NPO支援活動
19	木 理事会	19	日
20	金	20	月
21	土	21	火
22	日	22	水
23	月 女性委員会	23	木 拡大検討部会はお休み
24	火	24	金
25	水	25	土
26	木 拡大検討部会	26	日
27	金	27	月
28	土	28	火
29	日	29	水
30	月 NPO役員会	30	木
31	火	31	金

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒 261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 2-29-
 レジデンス幕張台 101号
発行責任者 : 吉田 哲治 **編集責任者** : 広木 国昭
TEL・FAX : 043-306-1190 (事務所には常駐していません)
Eメール : rousanchiba@grape.plala.or.jp
問合せ・質問 : 千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ事務局への問合せ